

文久三年十二月十三日より文久三年十二月十六日まで

P8311064 right

持参、右同心馬とも一泊す、風邪に付、今一日頼合ふ、右書類は都(すべ)て御城へ差出す、藤沢叔

母菓子其外を携へ、太郎痘瘡見舞来る、永持同行、蒸菓一大重(手遊び添)、せき同行、同品一折
其外大根

等、寺山小君え菓一折を携え来る、何れも一杯を勧む、久左衛門より同断、絵草子三帙錦絵
等、出

せり、須崎正覚菓子折を携え宿岡□子の儀に付、相談に来る、同人方より産賀赤飯贈り来る
十四日戌 晴

木村(敬)より転進賀糕贈り来る、金藤(□)来り面す、出 殿、亜ミニストル兼約減税の儀に付
談判

相越す趣、周防守殿より被命候、明十五日四時被為召候、金井(源)例の花暦を贈越す旨、
医道玄より

金川奉行へ大木(金)紹介の儀頼聞し旨、賢吉請状遣す処、不都合の儀有し空敷帰り来り
し旨久左衛門申出る

十五日亥 雪午前止猶陰

P8311064 left

御用召登 城御館表へ罷越すに付、御段□下拝領物被下□段、田安仮御殿芙蓉の間於
御替席

板倉周防守殿被仰■【文字判読不可】時□み羽織拝領仕候、薄晩前退出、聊賀延を開く、
山本(長)太郎

の病躰尋問に來し旨、須崎伯母来り、昨夕賢吉請状行違の儀、弁解有し書状□然いたし
即時請状いたし候積り、右のため久左衛門を遣す、医道玄来りし旨、永持より蔵書貸し呉

且今日
の賀意として割烹一重贈り越せし旨、菊池より兼約の酒樽を贈り旨、エンテレホット
しらべ

の儀に付、本入□□来り面す、右書類猶吉十郎方へ為持遣す、金川田州より御用状届く
近□

に付、伊藤(哲幸)寺山、藤山、山本(長)、道玄、山田(八)、岡本(貞助)等追て見舞に來る
十六日子 晴

昨本へ到来御用状豆州方へ為持相達す、吉十郎昨達遣せし書類取しらべ持参、願第九時
金港出立、梅莊へ午十二時半着、太一へ会合の夕第三時半金駅本陣へ着、□州と合宿

(○内は細字双行(一行に小さい文字で二行書き)などの場合です。

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。

【文字判読不可】、■は、文章の一部に汚れ、虫食いにより文字が無い等です。